

チーム医療：呼吸ケアチーム（RST）

—関係部署—

心臓血管外科	循環器内科
外科	口腔外科
血液内科	整形外科
総合内科・感染症内科	呼吸器外科
内科	

—概要—

2010年度の診療報酬改定から、呼吸ケアチーム(RST: Respiratory care Support Team)加算が新設された背景から、当院でも同年よりRSTが結成された。

2016年度は呼吸器内科医師、集中ケア認定看護師、臨床工学技士、理学療法士が引き続きコアメンバーとなり、人工呼吸器離脱のための呼吸ケアに係る専任チームとして活動した。コアメンバーの他、医師・看護師以外の各職種から新たなメンバー1～2名が加わった。

RSTの目的は、人工呼吸器の離脱に向け、患者家族の苦痛緩和を含む呼吸管理および看護方法の相談を受け、医療チームを支援することである。安全な呼吸ケア提供のために必要な知識を医療者に提供し、医療の質向上を目指した。

昨年度のRST対象患者はのべ7名であったが、今年度は9人とほぼ横ばいであった。

活動内容は週1回のラウンド【毎週水曜PM1時間程度で1～数名】に加え、定期ラウンド以外にも個人ラウンド(メンバーが単独で訪問し、主治医・受け持ち看護師と共にケアを実施)を行った。当該部署でのケア継続のために、回診時はRST診療録の記載と、回診内容の口頭・メール伝達を行った。スムーズな呼吸器離脱とその後の呼吸ケアについて助言・支援し、患者さんの心身の苦痛緩和、安全確保、看護師のケア能力の向上を目指して相談を受け支援を行った。

呼吸ケアに関するデータ収集(人工呼吸器離脱率や再挿管率・離脱成功基準や失敗の理由・依頼状況や素因・人工呼吸器離脱患者数・人工呼吸器日数など)も、継続して行った。

—実績—

RST対象患者は9人(症例数10症例)

総回診数39回

呼吸ケアに関するデータ収集結果

呼吸器離脱率：77%

呼吸器装着人数：9人

呼吸器装着日数：平均39.1日

介入後呼吸器離脱までの日数：

挿管後1週間以内の介入：14.3日

挿管後1週間経過後の介入：56日

再挿管率：0%

VAP発生率：不明

誤嚥性肺炎発生率：不明

肺合併症(嚥下訓練・呼吸訓練)管理相談：0件

人工呼吸器ケア管理相談：0件

看護局の教育委員会主催の研修講義

呼吸・循環フィジカルアセスメント

画像と血液データの見方

人工呼吸器装着患者看護

ラダーⅠ(4回) + ラダーⅡa(3回)

RST主催の勉強会：0件

新採用者へのRSTチーム活動紹介：1回/年

—今年度の成果と反省点—

前年度と比べRST対象患者はほぼ変化は認めないが、早期の介入例での人工呼吸器装着期間が短縮しており、今後は早期介入による安全な人工呼吸器離脱への援助を行えるように活動を行っていく。また、合併症やケアに関する相談がなく、今後は看護ケアへの提案などが必要だと考える。

—来年度への抱負—

RSTラウンドと個人ラウンドの連動を強化させ、早期介入を行い本年度以上の症例数の実績を作り、スタッフに頼られる活動を行っていきたい。

